

令和6年度シラバス

文化学園大学保育専門学校

科目名				授業の種類		授業担当者	
子どもと言葉				講義		水口 崇	
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修		
1	1	15	8	前期	幼免：選択必修	保育士：選択	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>(1) 言葉の意義と機能 ・言葉の意義や機能について理解する。 ・話し言葉や書き言葉の意義や機能について説明できる。</p> <p>(2) 言葉・コミュニケーションの発達 ・乳幼児期の言葉やコミュニケーションの発達について理解する。</p> <p>(3) 子どもの言葉を育てる教材や実践 ・子どもの言葉を育てる教材の種類や保育への取り入れ方、実践について理解する。 ・子どもの言葉を育てる実践を、具体的な保育場面を想定しながら説明できる。</p> <p>(4) 言葉に対する感覚を豊かにする教材や実践 ・言葉の楽しさや美しさについて、具体的な例をあげて説明できる。 ・言葉に対する感覚を豊かにする教材の種類や保育への取り入れ方について理解する。 ・言葉に対する感覚を豊かにする実践を、具体的な保育場面を想定しながら説明できる。</p>							
<p>[授業全体の内容と概要]</p> <p>言葉の獲得に関する領域「言葉」の指導の基盤となる言葉の意義や機能、言葉の発達過程に関する基本的知識を理解する。その上で、子どもが自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わったり、他者と言葉で伝え合ったりする喜びを感じるための教材や実践についての基礎的知識を身に付ける。また、言葉に対する感覚を豊かにする教材や実践についても考える。ICTの活用も取り入れる。</p>							
<p>[受講上の注意事項]</p> <p>特になし</p>							
<p>[使用テキスト]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省(2018) 幼稚園教育要領解説 フレーベル館 ・内閣府・文部科学省・厚生労働省(2018) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 フレーベル館 ・厚生労働省(2018) 保育所保育指針解説 フレーベル館 ・岩立志津夫・小椋たみ子(2017) よくわかる言語発達 ミネルヴァ書房 				<p>[評価基準]</p> <p>授業に加え、自習によって知識・技能が高まっている。授業内の課題(50%)と最終レポート(50%)によって評価を行う。</p>			
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]							
回	項目			授業内容			
1	言葉の意義と機能			言葉の意義や機能			
2	言葉・コミュニケーションの発達①			乳児期の言葉の発達			
3	言葉・コミュニケーションの発達②			幼児期・学童期の言葉の発達			
4	子どもの言葉を育てる教材や実践①			子どもの言葉を育てる教材の種類や保育への取り入れ方			
5	子どもの言葉を育てる教材や実践②			絵本や紙芝居の読み聞かせの実践(構想, 発表)			
6	言葉に対する感覚を豊かにする教材や実践①			言葉に対する感覚を豊かにする教材の種類や保育への取り入れ方			
7	言葉に対する感覚を豊かにする教材や実践②			言葉遊びの実践(構想, 発表)			
8	まとめ			全体のまとめと最終レポート(授業での学びの振り返り)			
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
実務教員としての経歴							
実務経験と授業の関連							